



2021年
(令和3年)
冬号
Vol. 6

枚方市議会議員

奥野みか

すべての人々が、「今」を輝いて
生きていける社会をつくる

- 奥野みかの活動報告(トピックス)
～みんなが安心して暮らせるまちのために～
- 奥野みかの議会質問
(全員協議会から12月
定例会月議会まで)～市は
適切な舵取りを～
- 奥野みかの一般質問
(質疑のポイント)



奥野みかの活動報告(トピックス) ～みんなが安心して暮らせるまちのために～

急性期病院としての役割を果たしていく

11月24日は第3回の病院運営審議委員会でした。市立ひらかた病院は、感染症指定医療機関として、11月19日以降、フェーズ4の受入れ体制(42床)を確保しています。経営改善と院内感染防止の両立を図り、今春、地域医療支援病院の承認を受けられるよう、厳しい状況だが公的役割を果たしていくとの報告がありました。

誰もが安心して働き、生活できる元気なまちを

12月22日、連合河北地区協議会として「2021年度政策・制度予算に対する要請」を枚方市に提出しました。急速に悪化している雇用・労働環境の中、働く者・生活者の不安を取り除き、持続可能な社会の実現につなげるよう要請しました。



奥野みかの議会質問 (全員協議会から12月定例会月議会まで) ～市は適切な舵取りを～

枚方市駅周辺再整備で市は何を実現したいのか

12月定例会月議会は、12月8日～22日の15日間の会期で行われました。

また、12月4日には、市が明らかにした令和2年度版の「枚方市駅周辺再整備基本計画(素案)」や「枚方市新庁舎整備基本構想(素案)」、「財政シミュレーション」等について審議する全員協議会が開催され、私を含む12人の議員が様々な観点から質疑を行いました。

私は、令和13年度までの財政シミュレーションの作成方法や現実性、また、多額の財源を使う④⑤街区の再整備事業(新庁舎建設や市有地を売却しての土地区画整理事業等)で何を実現したいのか、廃止となる市民会館大ホール棟への対応、市長のリーダーシップについて、質問を行いました。

新型コロナ禍のダメージも計り知れず、今後、行政に求められる必要施策について模索を続けている中で、将来の財政や行政運営に大きなリスクのある大型事業にも関わらず、市は従来の発想や構想を見直していません。また、この事業費を捻出するため毎年度10億円もの財政削減効果を生み出す行政改革を行うとの財政シミュレーションを示しましたが、その内容は不明です。

市は全員協議会に提出した「枚方市駅周辺再整備基本計画(素案)」及び「枚方市新庁舎整備基本構想(素案)」に若干



の修正を加え、1月4日からパブリックコメントを募集していますが、先の見通せない中、歴史的な大事業については、再検討が必要ではないでしょうか。

一方、廃止が決まり、老朽化で建物の危険性が高まる大ホールの解体は何年も先送りするとしています。

質問／「市民会館大ホール跡地の有効活用を早急に検討すべき」との議会研究チームの意見もある。市民会館大ホールの解体はいつ頃を想定しているのか。先に解体を進めるといった考えはないのか。

答弁(市駅周辺等まち活性化部長)／市民会館大ホールを含む④⑤街区については、来年度に権利者との勉強会や合意形成に向けた取組、並びに市有地の活用方法についての市民意見の聴取などを行う。それらを反映した都市計画の決定や事業計画の認可、換地計画の認可、仮換地指定を経て、解体に着手できる。最短で令和5年度内の解体着手となる。

適切な施策展開を求めた一般質問

新型コロナ対策、留守家庭児童会室の運営、窓口業務の民間委託、枚方市駅周辺再整備等の施策展開が真に市民の利益になっているのかという観点で、6項目の質問を行いました。(※裏面に一般質問の**質疑のポイント**を掲載)

奥野みか ホームページ・フェイスブック

～皆さまのご意見・ご要望もお聞かせください～

<https://okuno-mika.com>

<https://www.facebook.com/mika.okuno.338>



奥野 みか

12月定例会議会 一般質問

ポイント／クラスターの発生を防止し、最前線の医療現場で働く職員を支える具体的な取り組みを

(質問①：新型コロナウイルス感染症対策について)

新型コロナウイルスの感染拡大による医療・介護崩壊を招かないためには、重症化リスクのある高齢者が集団生活を行う介護施設等における感染拡大を確実に押さえること、そして、最前線の医療現場で働く職員を支え、離職を防ぐ取り組みを行うことが求められています。

市として、基準のあいまいな公共施設の使用制限等を行うのではなく、高齢者施設におけるクラスター発生防止のため、市内医療機関と連携して、感染症防御体制を構築すること、市立ひらかた病院の職員を支えるための具体的な対応を速やかに実現することを要望しました。

質問／市立ひらかた病院とそこで働く職員を支えるための対応は？

答弁(市長)／北河内医療圏で唯一の感染症指定医療機関として、地域住民の命を守るため、日々奮闘する職員が誇りをもって働き続けることができるよう、病院職員の声にしっかりと耳を傾けつつ、過度な負担が集中しないよう支援する。(←必要な対応を速やかに！)

ポイント／現状の改善のため、職員とのコミュニケーションを図り、必要な取り組みを誠実に

(質問②：放課後児童健全育成事業の適正運営について)

働く職員の処遇改善による人材の確保や、職員の資質向上を図ることができてこそ、子どもたちが安全で豊かな放課後を過ごすことにつながることを意見しました。

質問／室長を担う「主任支援員」の職務内容・責任体制について、どこにどのように規定されているのか。

答弁(学校教育部長)／「主任支援員」は、責任者として児童会室の運営を統括するとともに、支援員・準支援員への指導・育成を行う。平成26年の市長決裁で職務内容を規定。(←職責に応じた手当等の支給はなし)

質問／職員に対して、今年度の研修の実施状況は？

答弁(学校教育部長)／新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、新入時研修を除き、集合研修は見送っている。(←主任支援員へのリスク対応の研修もなし！?)

質問／放課後キッズクラブ(新規事業)の導入に向けて、対象となる児童・保護者、職員への説明状況は？

答弁(学校教育部長)／先行導入4校の保護者等に9月下旬に資料配布・意見聴取、10月中旬に説明会実施。来年1月に登録説明会を開催予定。職員への説明は、職員配置を決定次第、適宜実施。(←留守家庭児童会室を含む新規事業なので、十分な意見交換が必要！)

ポイント／誰一人取り残さない。すべての子どもが教育を受ける権利の保障を

(質問③：外国につながる子どもたちの教育の保障について)

質問／市立学校に入学していない児童・生徒の状況を把握しているのか。就学手続きの変更・拡充は？

答弁(学校教育部長)／外国籍で就学手続きをされていない方が、不就学か否かについての把握はできていない。(←まずは、就学機会を確保するため、就学案内等を徹底し、就学状況を把握することが必要！)

ポイント／窓口業務の委託は公共としての能力の弱体化につながる

(質問④：窓口業務の最適化について)



スマート自治体化を推進する中で、窓口への来訪の比重はどんどん下がるなか、それでも窓口に来られるという市民が期待されるのは、窓口対応の職員が訴えをしっかりと傾聴し、複雑な困難を解きほぐし、必要な情報を正確にわかりやすく教えてくれるという、「専門性」と「責任」のある対応ではないでしょうか。窓口業務の委託は、公共財である「行政に携わる人材の質」の低下を招き、公共の能力を弱体化させると指摘しました。

ポイント／さらに老朽化し、どんどん危険になっていく市民会館大ホール棟が駅前に放置される？基金を活用した解体撤去の先行実施を

(質問⑤：新庁舎及び総合文化施設整備事業基金について)

今年度の法定点検で指摘される市民会館大ホール棟の危険な状態に関する数多くの問題点をしっかりと把握する必要があります。廃止施設となった後は市有建築物保全計画の対象から除外され、解体撤去を待つばかり。建物維持のために予算を使うことも困難になり、さらに老朽化し、どんどん危険になっていく市民会館大ホール棟が駅前に放置されるということは絶対に避けなければなりません。実施できるかどうか不透明な土地区画整理事業から切り離し、基金を活用して市民会館大ホール棟の解体撤去を先行するという事業の進め方を検討すべきと意見しました。

**ポイント**／地域住民の安心につながる説明実施を

(質問⑥：枚方市駅周辺再整備における③街区の再開発事業の影響等について)

質問／市駅東側に建てられるツイン高層ビルが風害を引き起こす危険性はないのか？

答弁(市駅周辺等まち活性化部長)／府・市条例に基づく環境影響評価の実施基準には該当しないが、新築工事着手前までに風環境の影響調査を行うと聞いている。